

なすび

第49号
目次

1p 園長挨拶
1p~3p 職員紹介
3p~4p 行事報告
4p 部活動報告
今後の予定

栃木県那須学園
〒329-2132
矢板市沢800
TEL 0287-43-0573
FAX 0287-43-6886
メール nasu-gakuen
@pref.tochigi.lg.jp
発行日 令和7年6月28日

令和七年度を迎えて

園長挨拶

小野 好邦

四月から園長に就任いたしました小野と申します。中央児童相談所から異動してきました。那須学園の職員となるのは今回で三回目です。初めての勤務は今から二年前の平成一六年からの三年間でした。平成一六年当時は男子一ヶ寮、女子一ヶ寮の計二ヶ寮で運営し、私は男子寮にて勤務していましたが、当時多いときには男子寮内に一五名前後の子どもがいたような気がします。入所児童の増加もあり、翌平成一七年度途中から、高校に通学していることもや実習に出ている中卒の子どもが数名いましたので、その子ども達を現在の男子第二寮に移し一部自立寮のような形で運営し、平成一八年度当初からは現在と同じ男子二ヶ寮、女子一ヶ寮、計三ヶ寮にて運営し始め現在に至っています。当時と今とを記憶の中で比べてみますと、印象としては、こどもの様子も徐々に変わってきているのだろうなあ、と思

うことがあります。児童自立支援施設には、伝統的な理念が存在するとかつて学びました。「流汗悟道」、「暗渠の精神」、「withの精神」などです。また児童自立支援施設設の理念の一つは「共生共育（ともに生き、ともに育ち合うこと）」です。これらの理念を大切にし、こどもの様子は変わってきていても、こども達や職員と一緒によりよい那須学園を創るために努力していけたら、と考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

◎職員紹介

☆総務課☆

増子 博之（園長補佐兼総務課長）

今年度で学園勤務二年目になりました。学園の基本理念である「すべてはこどもの最善の利益のために」をどのように実現していくべきかを日々考え、児童にとって学園で生活したことが将来にプラスになるよう学園運営を支えていきます。

伊原 祐子（総務課副主幹）

総務課三年目となります。慣れたきたからと気を緩めず、皆さんの学

園生活と事業が円滑に行えるよう支えていきたいと思っています。よろしくお願ひします。

福島すみ子（総務課事務補助）

事務補助員として今年で三年目になりました。那須学園の皆さんが、良い環境で安心して過ごせるよう頑張っていきたいと思ひますので、よろしくお願ひします。

藤田 雅美（農場担当）

農場係として今年で六年目になりました。こどもたちの成長のお手伝いになれるよう一日一日を大切に自分に出ることを頑張ります。

☆育成課☆

村岡 一頼（園長補佐兼育成課長）

今年度から育成課長になりました村岡一頼です。三年ぶりに戻って参りました。初心に戻って頑張りたいと思ひますのでよろしくお願ひします。

白井 聡（男子第一寮長）

一寮長の白井です。昔、推していたロックバンドが二年前に活動再開し、最近、会いに行ってきました。

vocalはとても若々しく輝いていました。力をもらったので、私も負けないよう活発に動き回ります！！

中島 典昭（男子第一副寮長）

男子一寮配属の中島です。これまでは一三歳くらいの気持ちでいましたが気がつけば四五歳。身体の各所にガタが出始め歳をとるのが怖くなってきましたがアクセル全開で精進します！！

上坪 聡（男子第一寮）

今年度も男子一寮に配属となりました上坪です。入所児童たちが後に振り返ったとき、少しでも前向きな自分になつてもらえるような今を過ごさせたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

平野 克江（男子第一寮）

四月から男子寮に異動となりました。こどもたちが安心して過ごせ、成長できるよう支援してゆきたいと思ひます。自然に囲まれた環境のなかで、心穏やかに、こどもたちと過ごす時間を大切にしてゆきたいと思ひます。

黒川 将希（男子第一寮）

今年も男子寮の担当になりました。個人的な目標は、誰よりも草刈りで汗を流したいと思ひています。寮のこどもたちには、「感謝の気持ちを持てる人」になつて欲しいと思ひ

ています。私自身がこどものお手本になれるよう、日々感謝の気持ちを言葉で伝えていきたいです。

大森 美咲（男子第一寮）

五月から復帰しました。育休を取得していた期間も含むと六年目となり、当初の想定よりも長くなってきました。今年度は心理の業務が忙しくなりそうですが、ワークライフバランスを大切に、できる限り頑張ります。

佐藤 佳都（男子第一寮）

中央児童相談所から異動してまいりました佐藤です。男子一寮と心理の担当になります。初めての場所ではないことだらけですが、精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願いします。

小鍋 良和（男子第二寮長）

厳しさと思いやりを持った親父になれるよう日々奮闘中です。子どもたちと「那須学園に火をつけ、熱い想いを胸に秘めつつ、グレートな男になろうぜ！熱男」をスローガンとして日々生活しています。

早川 和美（男子第二副寮長）

男子二寮に戻って参りました。恩師から借り続けている「一路白頭ニ至ル」読み返し始めています。初心に戻り、挑戦する一年にします。よろしく願います。

松田 充修（男子第二寮）

那須学園野球部監督二年目になりました。世の中でも同世代の多くが監督をする年齢になってきた事に時の流れを感じます。私が大好きな「無我夢中」を野球部のスローガンとして一緒に勝つ勝利を目指したいと思っています。

関 亨（男子第二寮）

那須学園に来て三年目となりました。今年度も引き続き「児童たちの心身の健康と安定した居場所を作れるよう」に尽力したいと思っています。こどもたちに負けないように勉強に運動に作業を頑張ります。

大金 順（男子第二寮）

男子二寮二年目になりました。こどもの気持ちに寄り添い、前に進むきっかけを作ってあげられる職員であれるよう、日々精進していききたいと思っています。

馬籠 明子（男子第二寮）

今年も桜と春の花々の風景に感動しています。日々の小さな変化や発見をこどもたちと共有しながら、一歩一歩進みたいと思っています。よろしく願っています。

小倉 守（男子第二寮）

二寮担当になりました小倉守です。三月まで宿直員として勤務して

おりましたが四月から指導員として二寮担当となりました。こども達と一緒に活動出来るように体力を強化し、部活動や学校行事に備えたいと考えています。

島野 紘子（女子寮長）

女子寮長の島野です。初めての寮長と五年ぶりの女子寮で、緊張しています。女の子は元気いっぱいです。私も元気に初心に返って、こどもたちと一緒に過ごす時間を大切にしていきます。

石田 博英（女子副寮長）

女子寮三年目の勤務となりました。今年度も元気いっぱいなこども達と一緒に成長していきたいと思えます。一年後、どんな自分に成長できているのか楽しみです。

菊地 明則（女子寮）

今年度から女子寮の担当になりました菊地です。約一〇年ぶりに現場に戻ってきた感じです。寮職員に戻って気持ちはすぐ元気なのですが、身体が…という状態です。もう一度こどもと触れあえること楽しみたいと思います。

長 洋子（女子寮）

今年度から配属になりました。皆さんと一緒に規律ある中でも楽しい学園生活を過ごせるようにしていきたいです。

齋藤 隆（女子寮）

女子寮での勤務二年目になりました。バレーボール部を担当します。こども達も寮職員も素晴らしいチームワークで良い雰囲気のをにしたいと考えます。よろしく願います。

伊澤 由奈（女子寮）

昨年に引き続き、初心を忘れず、温故知新の精神で頑張ります。職員の名に恥じぬよう、感謝の気持ちを持って精進して参ります。こどもたちと一緒にまだまだ成長していきたいです。

越沼 ひより（女子寮）

女子寮四年目です。今年度も元気に達成感ある一年にしていきたいと思えます。私事ですが新年度スタートと同時に朝活で美文字とラジオ体操を始めました！今現在継続できてます！

♪那須学園 園歌♪

- 一 この丘は 光あふれ
河の水も きよらか
- 二 この森は 伸びゆけと
鳥のうたも ほがらか
- 三 この庭は 学べよと
鐘のひびき たからか
- 四 この寮は 花かおり
ともし灯も あたたか
- 五 この園は われらみな
心の港 那須学園

☆分校職員☆

曾田 尊子（教頭）

分校教頭二年目となりました。こどもたちが毎日充実した分校生活を送れるようチーム沢分校で頑張ります。学園との堅固な架け橋になれるよう精進していきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

葛西 広行（教務主任）

分校勤務四年目となりました。教育計画の作成など教務全般を担当しています。学園と調整を図りながら、諸活動がスムーズになるように努めていきたいと思っています。

植木 香織（国語科、家庭科）

国語を担当しています。進路関係事務でまたお世話になります。早速ですが、今年から県立高校入試の考査料の支払いがキャッシュレスになるとか収入証紙がどうか・・・。よろしく願います。

岡本 峻（保健体育科）

今年度より保健体育を担当しております。慣れないことが多く、体育的行事などで育成課の先生方にご面倒をおかけしますが、精一杯頑張りますので、よろしく願います。

石川 彩夏（理科）

分校二年目となりました。理科を

担当しています。理科の学習を通して、こどもたちがそれぞれもっている力を伸ばしながら、今以上に「気づく力」「想像する力」を養っていければと思います。よろしく願います。

駒場 光博（数学科）

分校勤務三年目になりました。どの生徒にも「分かる・できる」数学の授業を提供することを目指し、日々精進してまいります。育成課の先生方と密に連携を図りながら、生徒の自立支援に尽力したいと思っています。

谷川 知弥（英語科）

分校勤務三年目となりました。英語科を担当します。エネルギー溢れるこどもたちのパワーをどう生かすのか、腕が問われる毎日です。分校が安心して過ごせる場になるよう、環境づくりを頑張っています。

荒井 千明（社会科）

あつという間に、三度目の春を迎えました。相変わらず、美しく咲き誇る花々、雄大な自然に囲まれながら、「こどものために」とは何かを考える日々です。楽しく前向きに、突き進んでいきたいと思っています。

福山 直子（養護教諭）

分校勤務二年目となりました。こどもたちとの分校生活を通して、私自身たくさん学ばせていただいております。

ります。養護教諭として、こどもたちが心身共に健康に成長していけるよう、支援に努めたいと思います。

木村 知博（小学校担当）

今年度よりお世話になります。小学生を担当させていただいております。至らぬ点も多く、ご迷惑をおかけすることもあるかと存じますが、精一杯努めてまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

石栗 幸枝（学習支援）

今年度も沢分校でお世話になります。こどもたちが楽しい分校生活を送れるようサポートしていきたいと思っています。どうぞよろしく願います。

◎行事報告

「田植え体験」

五月一七日

昨年度に引き続き、少し小さめの田んぼを児童生徒及び学園・分校職員一丸となつて行いました。園長先生の挨拶後、全員が横一列となり、順調に生長してくれた苗を植えました。初めて田んぼに入る生徒は、泥の感触にたじろぐ場面も見られ、手つきもしどろもどろな感じでした。経験者は慣れた様子で進められました。しかし、休憩前は本当に終わるのかどうかの進み具合で不安もよぎりましたが、「絶対に時間内に終わらせるんだ」という担当の思いを皆が

汲み取り、一心不乱に植え進め、何とか、予定していた一面全てを終えることができました。皆に感謝です。

今後に向け、さらに自然への畏敬の念や食への感謝の気持ちをもつことができたと感じています。学園・分校職員、生徒が一丸となる行事の重要性を改めて認識することができ、収穫への期待を膨らませています。



「春の遠足」

五月二三日

乃木神社の見学を経て那須高原ビジターセンターへ。そこからは徒歩で「殺生石」へ向かい「つつじ園」を散策して戻るという、約二時間のハイキングです。温泉の匂いを纏う路地を抜け殺生石へ辿り着くと、その雄大な岩肌にも多くのこどもたちが

目を細めていました。そこからはとても険しい山肌を登り、普段は饒舌なこどもたちが思わず口をつぐんでしまうほどでした。しかしそれ乗り越えた先では、色鮮やかなつじを楽しむことができました。午後は温泉神社を参拝し、癒しの足湯をじっくりと堪能。そして帰路の途中で千本松牧場へ寄りました。お小遣いをやりくりしソフトクリームなどを堪能したり、ゆっくり散歩をしたりと、優雅な午後のひと時を過ごしました。

全体を通して、こどもたちの成長が随所に見られました。一般観光客への挨拶や、横断歩道で停車した車への会釈など、マナーのよい行動が自然とでき、こどもたちにとって那須学園での生活の集大成となるような遠足となりました。

◎部活動報告

「バレーボール部」

今年度の女子バレーボール部は「関東女子バレーボール大会に全員で出場、そして優勝」、「責任感を持って自分の役割を果たそう」という二つの目標を掲げました。その目標を達成するために、大きな声を出し一生懸命取り組み、感謝の気持ちをもって練習に励むことをこども達と確認しました。現在部員は四名です。昨年度のバレーボール経験者が一名しかおらず、練習の雰囲気つ

くりや基本的なプレーを反復練習している段階です。初心者が多いチームのため、毎回充実した練習に取り組みたいところですが、生活が落ち着かず部員全員が揃わない日もあれば、練習の姿勢態度について注意を受ける部員もいるのが現状です。大会当日までチームとしてどのくらい成長できるのか、一人ひとりが部員としての役割をきちんと果たせるか不安と期待が入り混じっている気持ちでいます。バレーボール部の活動を通して、こども達それぞれが何か得られるものがあるように練習に励んでいきたいと考えます。

「野球部」

今年度の野球部はメンバー四人でのスタートでした。人数が少ないだけでなく、野球のルールや動きを知っている児童が極わずかという状況のため、野球を知るところからのスタートでした。野球のルールや動きは覚えるのは難しかったですが、「無我夢中」という目標の下、やる気元気を前面に出して部活中はチームワークを意識して練習に励みました。日々の練習では野球部担当職員、他、寮の先生方や分校の先生方に毎日のように参加していただきました。応援してくれる人がいること、仲間と協力して取り組むこと、感謝の気持ちを育むことができました。今年度の関東少年野球大会では「初心者」の僕たちでもこんなに成長した

んだ！やれるんだ！」という気持ちを持って試合に臨めそうです。

「吹奏楽部」 1

今年度も吹奏楽部がスタートしました。今はまだ、初めて楽器に触れて緊張していると思いますが、活動の中で音楽を楽しみ、演奏することが好きになるような部活動にしていきたいと思います。合奏することは、周りに注意を向けること、周りに合わせることも必要になります。これは、日常の生活でも大切なことだと思います。

管楽器は音を出すことも大変です。その大変なことをひとつひとつクリアして、音階ができ、リズムができ、楽譜を練習して、全体で合わせて曲に仕上げていきます。始めは思うように音が出ないとか、指使いが難しいなど、何度も繰り返し練習し、心が折れそうになることもあると思います。でも、これまでの吹奏楽部でのこどもたちの努力と成長を見ながら、音は気持ちの表れで一生懸命奏でる音は心を打つものと感じます。一生懸命取り組みこどもたちの音色を聴いていただけるよう、まずは秋の発表を目標に取り組んで行きたいと思っています。

「吹奏楽部」 2

今年度の吹奏楽部は五月からスタートします。例年以上にこどもが少なく、学園にあるたくさんの楽器に

息を吹き込めないことが残念です。今は、こどもより職員の方が多い吹奏楽部ですが、少しずつ部員が増えることを願うばかりです。そして、まずは、こども一人一人の自分の楽器の音がきちんと出せるようになること、最後には、演奏を通して音楽を楽しめるようになるまで、頑張っていきます。自己主張ばかりで、自分の気持ちと向き合うこともせず、相手の言葉を聞かず、相手の気持ちを知らうともせず失礼してきたこども達ばかりです。吹奏楽を通して、自分の音、相手の音、みんなの音を聞けるように一緒に成長していきましょう。多くの方に聞いて、楽しんでいただけるよう頑張ります。応援よろしくお願いします。

◎七・八月の予定

七月一七～一八日 海浜宿泊学習
八月二日 関東少年水泳大会

編集後記 今年度もこどもたちの活動の様子を伝えていきます。なすびをどうぞよろしく願います。

育成課 大森・越沼・関